

2025年1月28日

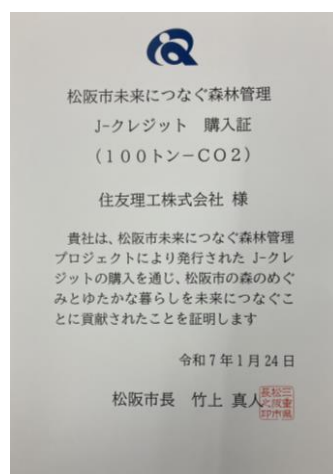
住友理工、松阪市から J-クレジットを購入し 環境保全と森林資源の循環利用を推進

～松阪事業所内の車両から年間で排出する温室効果ガスの
カーボン・オフセットに活用し、Scope3 排出量を削減～

住友理工株式会社（本社：名古屋市中村区、代表取締役 執行役員社長：清水和志）は、三重県松阪市が販売を募集した森林由来の J-クレジット制度※「松阪市未来につなぐ森林管理 J-クレジット」にて、100[t-CO₂]を購入したことをお知らせいたします。なお、J-クレジット購入は、住友理工グループにおいて初の取り組みとなります。



購入証交付式の様子



購入証

「松阪市未来につなぐ森林管理 J-クレジット」は、松阪市が管理する市有林および私有林（計 436ha）が国の認証を受け、令和 6 年 3 月に初めて取得した J-クレジットを販売する制度です。当社グループは、経営ビジョン「2029 年 住友理工グループビジョン（2029V）」において、2029 年度までに Scope1+2 の CO₂ 排出量 30%減（2018 年度比）および Scope3 の CO₂ 排出量 15%減（同）を目標とし、温室効果ガス排出量の削減に向けて積極的に取り組んでいます。このたび購入した J-クレジットを通じて、松阪市の森林管理・整備の促進に貢献するとともに、当社松阪事業所（三重県松阪市）から排出する温室効果ガスのカーボン・オフセットに活用します。なお、購入量の 100[t-CO₂]は、松阪事業所の社有車およびフォークリフトから排出する温室効果ガスの年間排出量に相当します。

当社グループでは、2029V で描いたありたい姿「理工のチカラを起点に、社会課題の解決に向けてソリューションを提供し続ける、リーディングカンパニー」を実現すべく、中期環境目標「環境 2029V」を策定しました。今後も環境へのインパクトを抑えて「脱炭素社会」「資源循環型社会」「自然共生社会」に貢献するとともに、事業の成長・新しい価値の創造に挑戦してまいります。

以上

※ J-クレジット制度とは、省エネルギー設備の導入や再生可能エネルギーの利用による CO₂ 等の排出削減量、適切な森林管理による CO₂ 等の吸収量を「クレジット」として国が認証する制度です。この制度により創出されたクレジットは、経団連カーボンニュートラル行動計画の目標達成やカーボン・オフセットなど、さまざまな用途に活用できます。

参考：環境省・経済産業省「J-クレジット制度について」<https://japancredit.go.jp/about/outline/>

―― 住友理工について ―――

住友理工は1929年に創業し、名古屋市中村区に本社を置くモノづくり企業です。2014年に東海ゴム工業から社名を変更しました。自動車（モビリティ）分野では、振動を制御する世界トップシェアの防振ゴムのほか、ゴム・樹脂ホースや、ウレタン製の製造音品・内装品を製造。自動車部品の開発で培った技術を生かし、インフラ・住環境、エレクトロニクス、ヘルスケアの各分野でも事業を展開しています。世界20ヶ国以上に広がるグローバルネットワークを活用して、“Global Excellent Manufacturing Company”を目指しています。

リリースに関するお問い合わせ先
住友理工株式会社

広報IR部 / 〒450-6316 名古屋市中村区名駅一丁目1番1号 JPタワー名古屋
tel 052-571-0259 e-mail product.info@jp.sumitomoriko.com <https://www.sumitomoriko.co.jp/>